

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	4	—	事業名	行政改革推進事業	担当部課	総務部 行政課
------	---	---	-----	----------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち			
		分野別項目	5	合理的で効果的な行政運営を行う			
		施策の進め方	1	効率的な行政運営の確立			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 効率的な行政運営の推進と質の高い行政サービスを提供するため、PDCAサイクルに基づく事務改善の取り組みである行政評価を実施するとともに、新たな行政改革の取組方針を検討する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市が行っている事務事業及び職員					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 事務事業の改善を行うとともに、職員の意識向上を図る。					
	事業を構成する事務事業	①	行政改革事業	改善・見直し	④		
	②	行政評価事業	改善・見直し	⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算	/	/	/
	決算			/	/	/	2,694
	人件費(B)	千円	決算	/	/	/	4,430
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	7,124

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A	改善が図られた事務事業数	事業	目標				100	
				実績				67	
	B	休廃止した事務事業数	事業	目標				3	
				実績				4	
C			目標 実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A 行政コスト及び事務事業の適正化を図ることから、「改善・見直し」とした事業数を成果指標とした。									
B 行政コストの削減及び事務事業の新陳代謝が図られることから、休廃止した事務事業数を成果指標とした。									
C									

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・平成27年8月28日付総務省通知「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項」により、地方行政サービス改革へのますますの取組が求められている。 ・行政評価のレベルを「事務事業評価」から「施策評価」、「政策評価」に引き上げている事例もある。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 行政評価については、継続的に実施していることで制度の浸透を図ることができた。行政改革事業については、過去の行政改革の取組の整理を行った。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 行政評価については、制度の浸透はある程度図られたため、今後は実効性を高める取り組みが必要である。行政改革事業については、新たな行政改革の取組方針を早期に固め、行政改革指針の策定に着手する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民により分かりやすい行政評価となるよう、行政評価票の見直しを行う。また、行政評価の実効性を高めるため、予算及び政策連動の仕組みの構築を検討する。 行政改革は、実効性のある行政改革の取組となるよう、行政改革の先進的な事例を調査研究するとともに、市が行政改革を行う目的を整理する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	行政改革推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	行政改革事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 現状に即した行政改革の取組を進めるため、行政改革指針の策定に着手する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 新たな行政改革の取組方針を策定し、行政運営のより一層の適正化を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,601
		決算				1,551

3. 活動推移

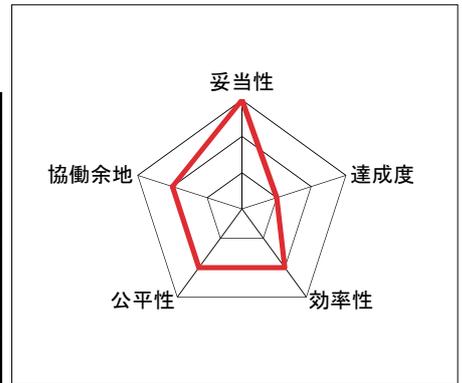
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
推進本部会議の回数	回	目標				2	
		実績				1	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成27年8月28日付総務省通知「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項」により、地方行政サービス改革へのますますの取組が求められている。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	1
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 実効性のある行政改革の取組となるよう、行政改革の先進的な事例を調査研究するとともに、市が行政改革を行う目的を整理する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	行政改革推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	行政評価事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市が行っている事務事業の改善を図るため、事務事業の効果測定を行うとともに今後の方向性を検討する「行政評価」を毎年度実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 事務事業の改善を図り、効率的な行政運営の確立を目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,139
		決算				1,143

3. 活動推移

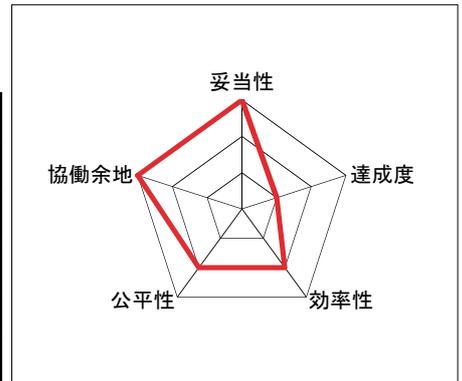
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
外部評価事業数	事業	目標				8	
		実績				8	
改善・見直し事業数	事業	目標				100	
		実績				67	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
本市では「事務事業」を評価事業の対象としているが、先進地では「政策」及び「施策」を行政評価の対象としている例もある。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	1
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
行政評価をより効果的なものとするため、行政評価票の見直しを行うとともに、行政評価対象事業を選別し直す。また、市民参加を促すため、外部評価の周知方法を再考する。